

資料3-3

(仮称) 地域福祉市民会議の開催内容について

1. 開催の目的

自治会、NPO・ボランティア団体、学生、市民団体などの方々の交流・情報交換を促し、計画を策定する上での基礎資料とする。

2. 参加者の応募方法

- ・ポスター(60枚)及びチラシ(5,000枚)を作成
- ・参加者の募集を市報わかやまに掲載予定

3. 会議の内容

- ①会議開催の目的を伝える。
- ②グループごとに分かれ、自己紹介をする。
- ③「助け合い体験ゲーム」を行う。
  - ・「助け合い体験ゲーム」とは、「困り事カード」を使って、支援者を探すゲームです。ゲームを通じて助け合う必要性のほか、地域以外の支援を求めなければならない課題も見えてきます。
  - ・第1部として、「助けて」と言えない人たちが気軽に「助けて」と言えるようにするために、ゲーム形式で楽しく助け合い体験を行う。
  - ・第2部として、第1部で実施した「個人単位の助け合い」から「地域のニーズ(足りない助け合い活動)」に置き換えて、みんなで話し合う。その結果、グループごとに話し合った内容を発表する。
- ④社協及び代表的な地域の活動内容を紹介する。
- ⑤開催終了後、簡単なアンケート調査(A4片面)を実施。

4. 会議終了後

- ・開催ごとに会議結果報告書を作成するとともに、全体報告書を作成する。

## 地域福祉市民会議タイトル（案）

1. 「地域の絆づくり交流会」（前回タイトル）
2. 「地域住民福祉座談会」
3. 「地域ふれあい会議」
4. 「地域の助け合いを考える会」
5. 「我が事・丸ごと地域づくり会議」